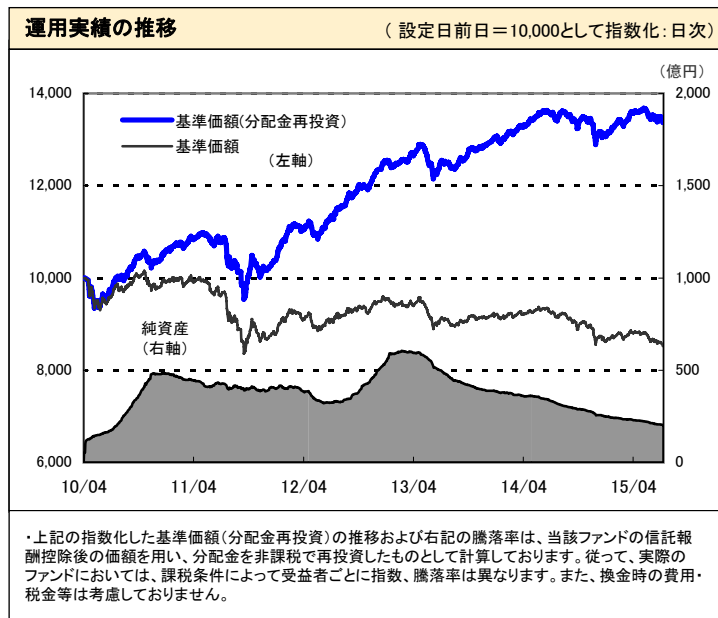




円コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	8,551 円
※分配金控除後	

純資産総額	201.8 億円
-------	----------

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	-0.8%
3カ月	-1.5%
6カ月	2.0%
1年	-0.9%
3年	18.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	34.1%
-----	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則、毎月15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年7月	50 円
2015年6月	50 円
2015年5月	50 円
2015年4月	50 円
2015年3月	50 円

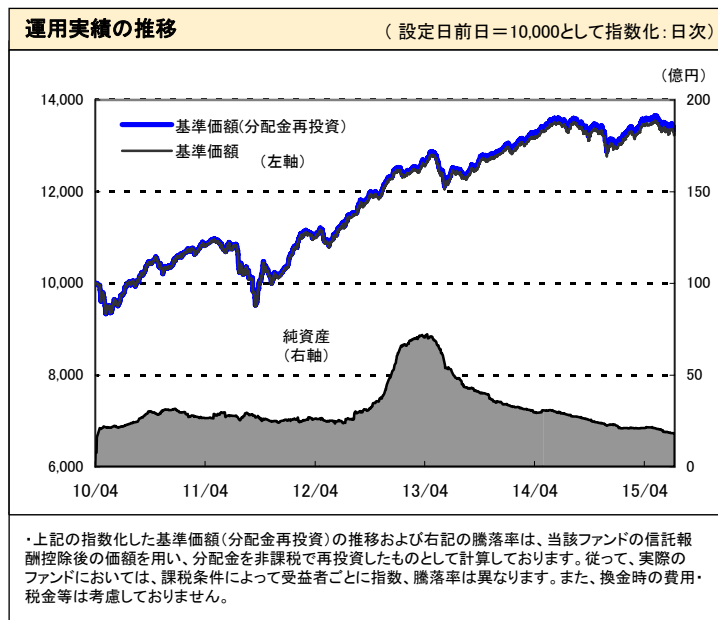
設定来累計	4,180 円
-------	---------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

円コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	13,278 円
※分配金控除後	

純資産総額	18.3 億円
-------	---------

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	-0.8%
3カ月	-1.5%
6カ月	2.0%
1年	-0.9%
3年	18.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	33.9%
-----	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則3月、9月の各15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年3月	10 円
2014年9月	10 円
2014年3月	10 円
2013年9月	10 円
2013年3月	10 円

設定来累計	100 円
-------	-------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

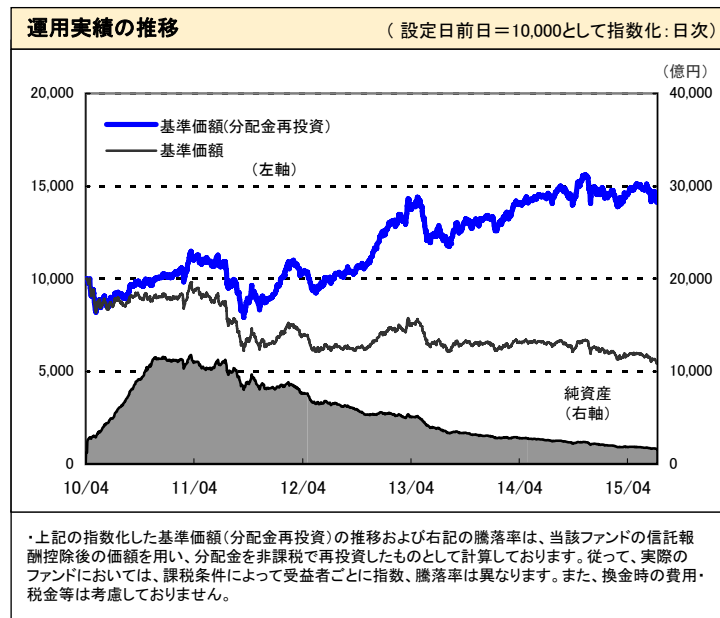
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



資源国通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	5,497 円
※分配金控除後	

純資産総額	1,625.4 億円
--------------	------------

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-3.5%
3ヵ月	-4.2%
6ヵ月	-3.1%
1年	-1.8%
3年	42.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	42.7%
------------	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則、毎月15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年7月	80 円
2015年6月	80 円
2015年5月	80 円
2015年4月	80 円
2015年3月	80 円

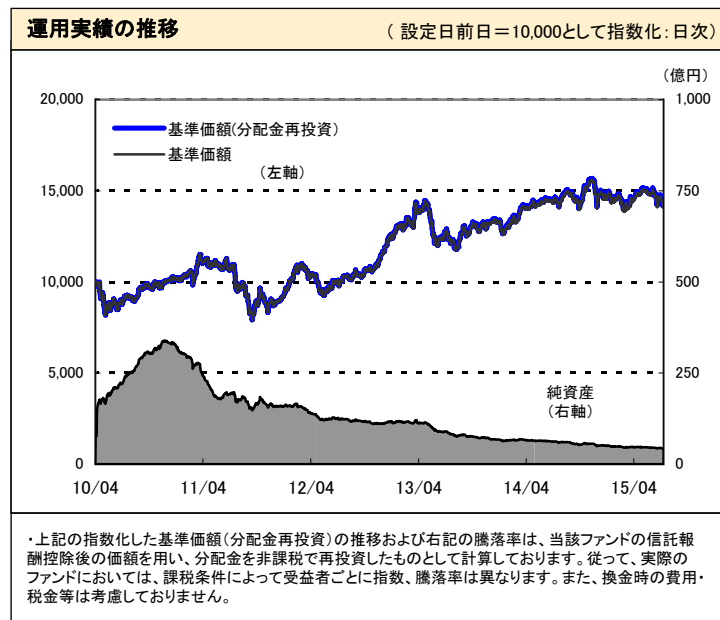
設定来累計	6,800 円
--------------	---------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資源国通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	14,225 円
※分配金控除後	

純資産総額	42.8 億円
--------------	---------

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-3.5%
3ヵ月	-4.2%
6ヵ月	-3.1%
1年	-1.9%
3年	42.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	43.2%
------------	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則3月、9月の各15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年3月	10 円
2014年9月	10 円
2014年3月	10 円
2013年9月	10 円
2013年3月	10 円

設定来累計	80 円
--------------	------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

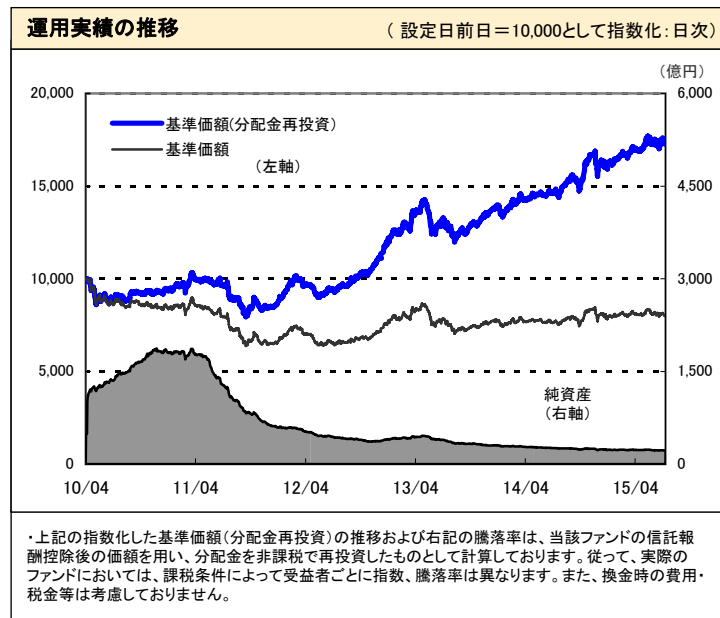
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



アジア通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	8,052 円
※分配金控除後	

純資産総額	222.4 億円
--------------	----------

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	0.3%
3カ月	2.6%
6カ月	7.1%
1年	17.9%
3年	85.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	73.9%
------------	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則、毎月15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年7月	80 円
2015年6月	80 円
2015年5月	80 円
2015年4月	80 円
2015年3月	80 円

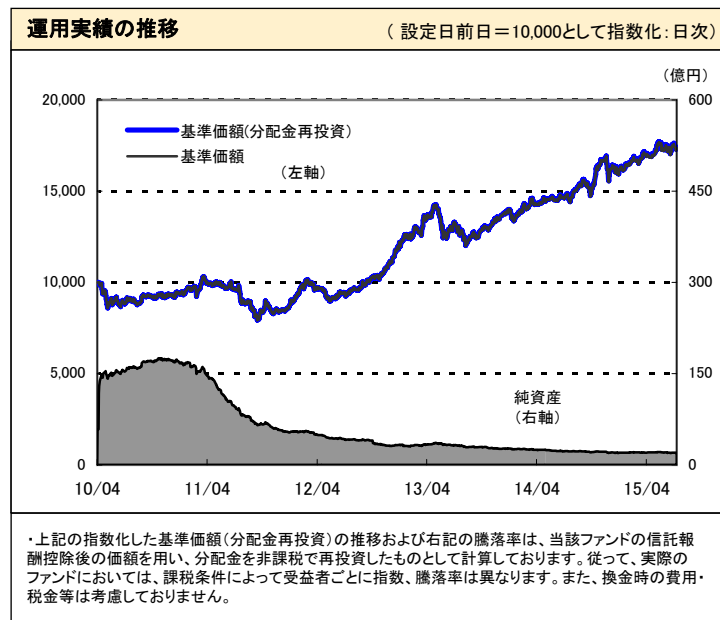
設定来累計	5,920 円
--------------	---------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

アジア通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	17,365 円
※分配金控除後	

純資産総額	19.7 億円
--------------	---------

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	0.3%
3カ月	2.6%
6カ月	7.1%
1年	17.9%
3年	85.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	74.3%
------------	-------

- 信託設定日 2010年4月23日
- 信託期間 2020年3月16日まで
- 決算日 原則3月、9月の各15日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年3月	10 円
2014年9月	10 円
2014年3月	10 円
2013年9月	10 円
2013年3月	10 円

設定来累計	50 円
--------------	------

設定来= 2010年4月23日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



追加型投信

ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンドの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2015年7月31日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
社債	80.0%
国債	10.1%
資産担保証券	0.7%
政府保証債・政府機関債・地方債	0.5%
その他の債券等	0.8%
その他の資産	7.9%
合計	100.0%

社債の内訳	
業種	純資産比
金融	17.2%
通信	13.7%
エネルギー	10.2%
生活必需品	9.8%
工業	9.5%
その他の業種	19.6%
社債計	80.0%

地域別配分	
地域	純資産比
米国	33.0%
欧州	27.5%
新興国その他	31.5%
その他の資産	7.9%
合計	100.0%

格付別配分	
格付	純資産比
AAA格	0.0%
AA格	1.5%
A格	1.1%
BBB格	11.9%
BB格	28.7%
B格	34.2%
CCC格以下および無格付	14.8%
その他の資産	7.9%
合計	100.0%

ポートフォリオ特性値	
平均格付	BB-
平均最終利回り(米ドル 為替取引後ベース) [※]	6.7%
平均デュレーション	4.3年

・ポートフォリオ特性値は、各副投資顧問会社のポートフォリオの特性値(最終利回り、平均デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです(米ドル建て)。また、格付の場合は、現金等を除き、格付毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

※米ドル建て以外の債券等への投資にあたっては、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、債券など組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。

・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

通貨別配分(為替取引 [※] 前)	
通貨	純資産比
米ドル	71.1%
ユーロ	21.0%
その他の通貨	7.9%
合計	100.0%

※米ドル建て以外の外貨建資産に投資を行った場合は、各副投資顧問会社が、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は副投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	資産	業種	純資産比
FNCL 30YR TBA 3.5% 13/08/15	資産担保証券	-	0.7%
CPUK FIN LTD 11.625% 28/02/18	社債	消費循環	0.4%
PEMEX MASTER 6.625% 15/06/35	社債	エネルギー	0.4%
FED REP OF BRAZIL 4.25% 07/01/25	国債	-	0.4%
DEUTSCHE POSTBANK FRN 17/06/49	社債	金融	0.3%
GHD BONDCO PLC 7% 15/04/20	社債	生活必需品	0.3%
TELEFONICA EUROPE FRN 29/09/49	社債	通信	0.3%
UTD MEXICAN STATE 6.05% 11/01/40	国債	-	0.3%
NIELSEN FIN LLC 5% 15/04/22	社債	通信	0.3%
AA BOND CO LTD 9.5% 31/07/19	社債	生活必需品	0.3%
合計			3.6%

組入銘柄数 : 2,169 銘柄

当資料は、各副投資顧問会社からのデータを基に、投資顧問会社であるNFR&Tが算出したデータを使用して作成しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

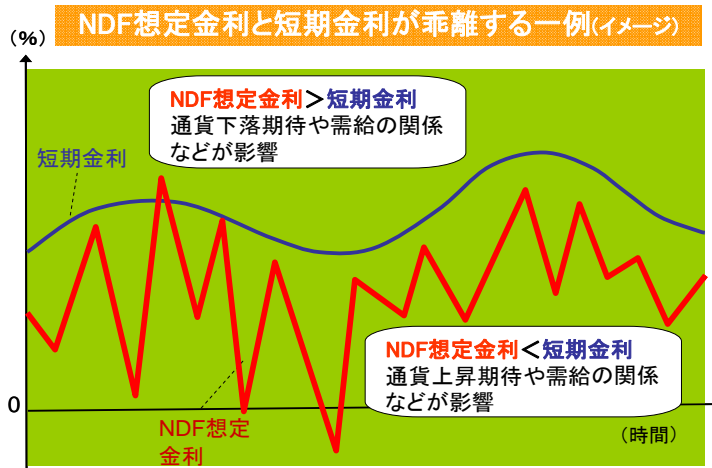
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- ◆ 為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆ 当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆ NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、米ドルの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。

(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

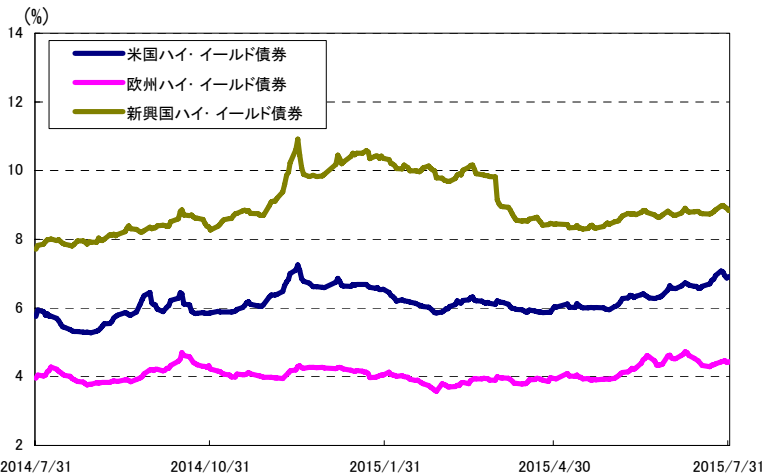
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



世界のハイ・イールド債券の利回り

2015年7月31日 現在

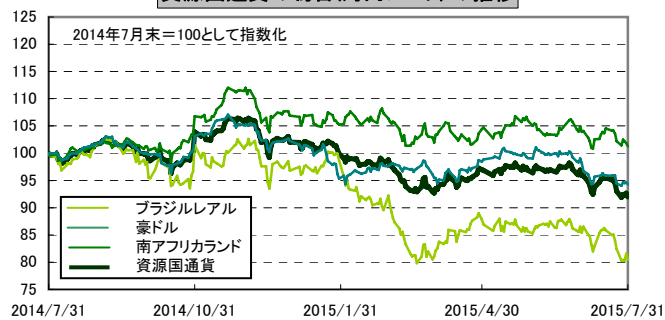


・出所: 各市場指数を基にNFR&T作成
米国ハイ・イールド債券: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス
欧州ハイ・イールド債券: BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス
新興国ハイ・イールド債券: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(BB格以下)とJPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(BB格以下)を半分ずつ合成
・BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch EURO High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、欧州のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット国債を対象としたインデックスです。JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(JP Morgan Corporate Emerging Market Bond Index Broad)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット社債を対象としたインデックスです。
・左記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

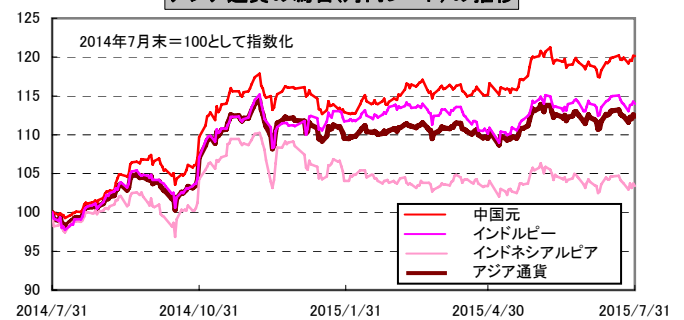
対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2015年7月31日 現在

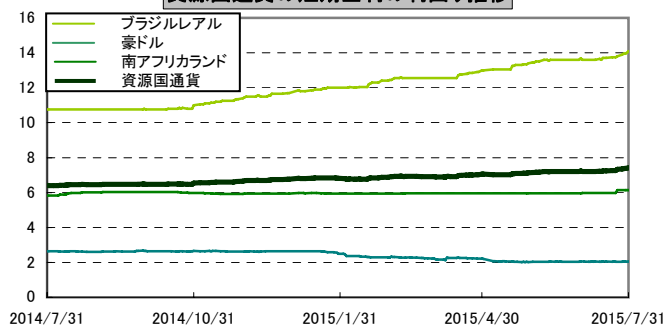
資源国通貨の為替(対円レート)の推移



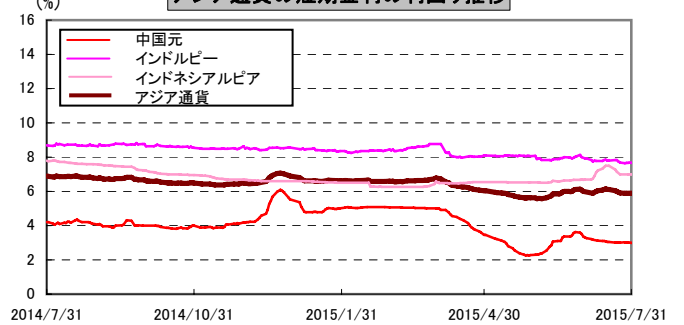
アジア通貨の為替(対円レート)の推移



資源国通貨の短期金利の利回り推移



アジア通貨の短期金利の利回り推移



NDFインプライド金利*

ブラジルレアル	中国元	インドルピー	インドネシアルピア
13.8%	1.8%	5.6%	9.1%

* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

NDFについては前ページをご参照ください。

・出所: ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
【各通貨の短期金利】ブラジルレアル: CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月、豪ドル: 銀行手形1ヵ月、南アフリカランド: ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、中国元: 上海インターバンク・オフワード・レート1ヵ月、インドルピー: NSEインターバンク1ヵ月オフワード・レート、インドネシアルピア: インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オフワード・レート1ヵ月
・「資源国通貨」は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。
・「アジア通貨」は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。
・「資源国通貨」の短期金利は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。
・「アジア通貨」の短期金利は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。
・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



注)野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーによるコメント

先月の投資環境

○米国ハイ・イールド債券市場は、上旬、ギリシャが国民投票で財政緊縮策を拒否したことを受け、同国のユーロ離脱懸念が高まったことなどから投資家のリスク回避姿勢が高まり、下落しました。その後も、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長が議会証言において、年内に政策金利を引き上げる可能性が高いとの認識を示したことなどを背景に、FRBによる政策金利引き上げ懸念が高まったことなどから軟調に推移し、月間では値下がりとなりました。

○欧州ハイ・イールド債券市場は、ギリシャが国民投票で財政緊縮策を拒否したことを受け、同国の財政破たんやユーロ離脱の懸念が高まったことなどから投資家のリスク回避姿勢が高まり、上旬、下落する場面がありました。その後は、ギリシャ議会が金融支援確保とユーロ残留を目指し財政改革法を可決したことなどから上昇し、月間では値上がりとなりました。

○新興国ハイ・イールド債券市場は、ギリシャのユーロ離脱懸念が高まったことを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、上旬、下落する場面がありました。その後は、ギリシャ議会が財政改革法を可決したことなどから上昇基調で推移し、中国経済の先行き不透明感などから下落する局面もありましたが、月間ではほぼ横ばいとなりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○基準価額(分配金再投資)は円コース、資源国通貨コースが下落した一方、アジア通貨コースは上昇しました。野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)が投資対象とする外国投資信託の債券組入比率は、月末現在で92.1%となりました。

○地域別配分は、米国への配分を相対的に高位としました。格付別配分は、B格やBB格の比率を高めとしました。また、債券種別配分では、社債を相対的に高位としつつ、国債や資産担保証券なども組み入れ、地域や格付け、債券種別配分などの観点から分散されたポートフォリオの構築を行ないました。

今後の運用方針 (2015年7月31日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国ハイ・イールド債券市場は、FRBが、年内利上げ開始の姿勢を維持したことから、引き続き、米国金利の上昇を意識しやすい環境にあると考えます。しかしながら、米国経済の成長が加速した場合、企業業績を下支えすることから、米国金利の上昇以上に米国ハイ・イールド債券市場にとってプラス材料であると考えます。

○欧州ハイ・イールド債券市場は、域内のデフレ警戒感が依然として根強いことを踏まえると、先行きについて慎重な見方が必要と考えます。また、ギリシャ金融支援が合意されましたが、支援の持続性について懸念が強いことにも注視する必要があると考えます。一方で、ECB(欧州中央銀行)がQE(量的金融緩和)を実施していることは、欧州経済を下支えする要因となり、欧州ハイ・イールド債券市場にとってプラス材料であると考えます。

○新興国ハイ・イールド債券市場は、米金融当局の意思決定が大きな変動要因となる為、値動きの荒い展開が続くと考えます。将来的に米国金利の上昇が意識されやすい局面であることから、慎重な見方が必要と考えます。また、中国経済の先行き不透明感が強まったことや、原油価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が高まっており、今後の動向について注視する必要性があると考えられます。一方で、底堅いファンダメンタルズ(基礎的条件)を背景に、先進国経済より新興国経済の成長率の絶対値は、今後も高い水準で推移すると考えられ、相対的に高い金利水準からも、新興国ハイ・イールド債券市場への注目は今後も継続すると考えます。

○運用に関しては、引き続き、高水準のインカムゲイン(利子収入)の確保とキャピタルゲイン(値上がり益)の獲得を目指し、地域別配分、格付別配分、債券種別配分を考慮したポートフォリオの構築を行なっていきます。地域間の市場環境や利回り水準などに鑑み、相対的に利回り水準が高く、中長期的な観点から、潜在的に高いリターンが見込まれる地域への投資を相対的に高位とする戦略を維持する方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



ファンドの特色

●「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の7本のファンドから構成されています。

●各コース(マネープールファンドを除く3つのコースを総称して「各コース」といいます。)

◆高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。

◆世界のハイ・イールド債券^{※1}を実質的な主要投資対象^{※2}とします。

※1 当ファンドにおいて、ハイ・イールド債券とは、格付機関によって格付される債券の信用度でBB格相当以下に格付されている有価証券をいいます(先進国または新興国の政府、政府機関もしくは企業が発行する債券、資産担保証券、優先証券等を含みます。)

※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 [※] を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 [※] を行いません。

※保有する外貨建資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

◆通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●マネープールファンド

◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象[※]とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

●「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆年2回決算型

原則、毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



ファンドの特色

- 各コースの運用にあたっては、「野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)」に、運用の指図に関する権限の一部を委託*します。

* NFR&Tおよび野村アセットマネジメントの組織再編について

NFR&Tは、平成27年10月1日(予定)にリテール運用関連事業を分割し、野村アセットマネジメント株式会社が当該事業を承継します。これに伴い、同日以降は、運用の指図に関する権限の一部の委託は行ないません。同日以降は、NFR&Tが投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行ない、それに基づき、野村アセットマネジメント株式会社が運用を行ないます。また、組織再編に関し、ファンドの投資方針には何ら変更はありません。

- ・ 投資対象とする外国投資信託において、投資顧問会社が、ハイ・イールド債券の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・ 副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、ハイ・イールド債券の運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
- ・ 投資顧問会社は選定した副投資顧問会社及び外国投資信託全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

副投資顧問会社	主な担当地域
Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.	米国
J.P. Morgan Investment Management Inc.	
FIL Investments International	欧州
Deutsche Asset & Wealth Management Investment GmbH	
Schroder Investment Management Limited	新興国その他
Schroder Investment Management North America Inc.	
Schroder Investment Management (Singapore) Ltd	
UBS Global Asset Management (Americas) Inc.	
UBS Global Asset Management (Deutschland) GmbH	
UBS Global Asset Management (UK) Ltd	
Ashmore Investment Management Limited	
Standish Mellon Asset Management Company LLC	米国、欧州、新興国その他
Wellington Management Company LLP	

- ・ 出所: NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成
- ・ 上記の各副投資顧問会社は、平成27年7月31日 現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



投資リスク

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成32年3月16日まで(平成22年4月23日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 資源国通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行
アジア通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、購入、換金の申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に4.32%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.8424%(税抜年0.78%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.7424%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成27年6月5日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価額証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]
<受託会社> 野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

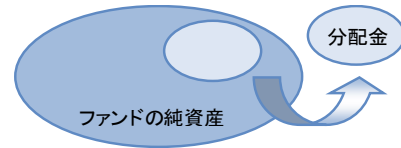
◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

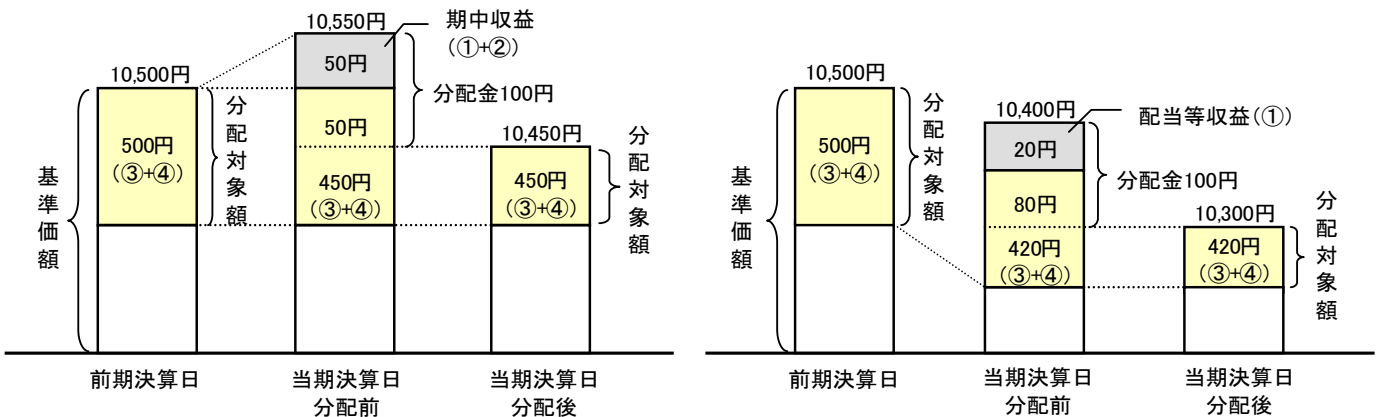
・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

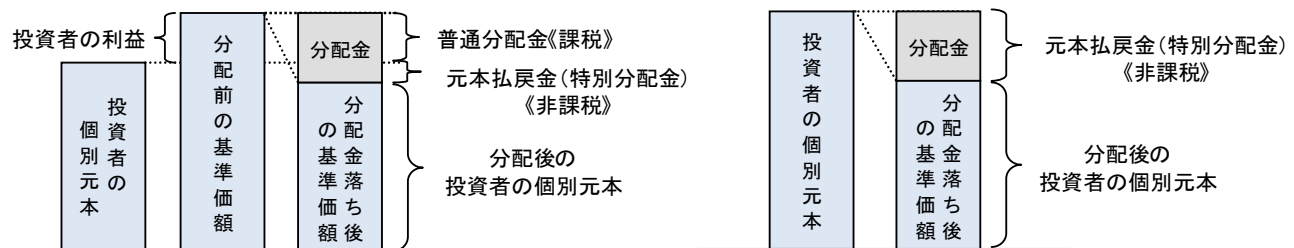
前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金) (特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。